LIP in HIRAKATA

ＬＩＰ（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

２０１９年８月号

京都やましろ保養の家が開設しました（7ページに記事）

- 言いたい放題！　アッキー28号（35）８月に想う
- 市営ギャラリーの存続を
- 地元地域の「気になる問題」について、市民と共に動いた活動が、国を揺るがす大きな問題に……！
- うたかた話　徒然草２
- 今月の五行歌
- マンガ「明るい自閉症講座」11♪
- 京都やましろ保養の家が開設しました
- イベント紹介　編集局より／ＬＩＰ配布場所／会計報告

「ＬＩＰ編集局」 https://www.love-dugong.net/lip/

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）

郵便振替口座　00920-8-120259（ＬＩＰ編集局）

LIPとは……Local Information Paperの頭文字をとったものです。

８月が近づくと、テレビや新聞で過去の戦争を振り返り検証する報道が行われる。

太平洋戦争が終わって74年。約三一〇万人ともいわれる戦争犠牲者を出して後、日本の国土は戦火にさらされることなく、今に至っている。この平和を守り伝えるために、戦争で犠牲になった人たちのことを思い出し、二度と同じことを起こさぬよう、語り継いでいかねばならない……。

広島、長崎に原爆が投下された８月６日と９日には、投下の時間に黙とう。玉音放送により日本の降伏が国民に公表された８月15日は終戦記念日とされ、先祖の霊をまつる月遅れ盆とぴったり重なる。大音声で鳴くセミの声にしみじみと過去をしのび、お盆休みの終わりと共に「戦争」の文字は私たちの前からひっそり消えていく。

ところで、国土が戦乱に巻き込まれることがなかったというのは、すなわち平和といえるのだろうか。今年５月、元号が平成から令和に変わったとき、「戦争のあった昭和と違い、平成は平和な時代だった。ありがたい」というような言葉をよく耳にした。しかし、この国の人々は本当に平和で幸せな時代を享受してきたといえるのか。

電車に乗っていると、「人身事故が発生しました」とアナウンスがあり、電車が止まる。最近そんな事態に時々遭遇する。人身事故とは、多くの場合飛び込み自殺である。「生きているのが辛い」と電車に飛び込む人たち。国土交通省のデータによれば国内の鉄道自殺は毎年六〇〇件以上。毎日１人以上が飛び込み自殺している勘定だ。

言いたい放題！　アッキー28号（35）　　８月に想う

学校でいじめられ、「ごめんなさい」と遺書を書いて命を断つ子どもたちがいる。「誰からも俺は必要とされない」と無差別殺人に走る若者がいる。「日本の高校生の約５割が『自分には価値なし』と考えている」という報道を見た。一方で、「70歳を超えても『働かざるを得ない』人が急増」「老後の生活資金が足りない」ということもよく聞く。実は自分もその１人であることを自覚してぞっとする。子どもから高齢者まで「生きづらい」と感じる世の中。そんな社会を平和であると本当にいえるのだろうか。

きっと私は底意地が悪いのだろう。街頭でマイクを向けられ、「平成は、災害が多かった。令和の時代は災害がなくなってほしい」と笑顔で語る人の映像を見ると、「何言うてんねん」とつっこみたくなった。地球温暖化とかの影響で、これからどんどん気象の変化が激しくなるといわれているのに。

昨年は北陸豪雪、西日本豪雨、全国的に記録的な猛暑、北海道胆振東部地震、相次いで関西を襲い国際空港の水没を招いた台風と、まさに「災」の年であった。さらに火山や地震の活動は盛んになると、多くの科学者が語っている。

災害が起こるといちばん大きな被害を受けるのは、社会的に弱い立場にある人たちだ。１９９５年（平成７年）の阪神淡路大震災では、老朽木造家屋の密集地で大きな被害が出た。２００５年８月には、米国東南部を大型ハリケーン・カトリーナが襲い、避難命令が出ていたにもかかわらず移動手段を持たない低所得者が取り残され、悲惨な状況に陥った。

８年前の東日本大震災では、地震と津波の被害と共に、原子力発電所が爆発し、広範囲にわたって土地が放射能に汚染された。事故後国によって定められた避難指示区域は徐々に解除されてきたが、健康被害を憂いて故郷から離れ避難生活を送る人が今も５万人以上いる。避難者に対する生活の保障は十分になされているとはいい難い。また、当初「想定外」とされた津波の被害は、安全対策を考える上で想定しないと決めて、リスクをきちんと想定しなかったためだと後に検証されている。

リーディングカンパニーといわれる企業も国も、人の命より経済を優先する。そんな国で誰もが安心して平和に暮らせるのか。

ずっとそんなことをうつうつ考えていたのだけれど、最近少し気分が変わった。７月21日の参院選で、重度の障害を持つ２人が当選した。選挙最終日の応援演説では難病を患う男性が、「僕には能力がありません。学歴も職歴もありません。では何をやってきたか。不平等な社会で、34年間死に物狂いで生きてきました」と発言、大きな拍手が沸いたという。まだまだこの国も捨てたもんじゃない。ちょっとわくわくしている。

（著者プロフィール）　パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。市民活動、文化活動にも励んでいます。

市営ギャラリーの存続を

はじめに

枚方市が工事を進めている「枚方市総合文化芸術センター（仮称）」に伴い、枚方市駅に隣接する市営ギャラリー（ふれあいホールと市民ギャラリー）の廃止方針があるそうです。廃止は地域文化振興にダメージが大きいと私は考えます。廃止についてこれまでの利用者への説明はなく、市民の意見が汲み取られないまま進められています。

文化振興って？

まずもともと「文化振興」の定義が曖昧だと思います。立派な施設を建設すれば文化振興した気がするかもしれませんが、私は建物自体は文化振興に直接つながらないと考えます。

文化には「享受する側面」と「体験する側面」があり、たとえば絵を見たり演劇を観たりすることは享受で、絵を習ったりダンスを習ったりすることは体験とすると、なにを重視すればいいでしょう？

枚方市で暮らして感じているのは芸術を鑑賞する機会が極端に少ないこと。だから立派な建物を建設すればよいということになりません。４０万人都市に建物を一つ作っても状況が大きく変わるとは思えません。

それよりも体験はすでに広がっています。市内には小規模な絵画サークルや写真サークル、ダンス教室などがかなり多くあり、人間関係が育まれています。たとえば枚方では写真クラブが続々と生れ、毎年市営ギャラリーで作品発表されています。展覧会に向けて日々学び、人と交流し、出掛けて作品づくりに励んでおられる。また写真クラブにはシニア層が多いので心身の健康増進や孤立化抑制につながっています。私が枚方の文化振興として明確にイメージできるのはこういった点です。

私の提案

今推進が望ましいのは市民の体験・発表の機会の充実で、既存施設でギャラリー機能を充実させたり、演奏や演劇向けの設備を購入したり、美術製作できる部屋を作ったり、利用しやすい制度づくりなどが枚方市の現状に沿っていると思います。

その際、重視すべきは誰でも気軽に利用できることと高齢化への対応です。とくにアクセスは非常に重要です。少し場所が離れるだけでも、高齢者や障害者、病者、小さい子がいる母親等には負担が増します。現在の市営ギャラリーは車椅子で気軽に行けます。病弱な方でもあまり歩かずに行けます。高齢化が進む時代にこの点はますます重みを増します。

またアクセスが悪くなるほど利用者は縮小・固定化します。美術に興味ない人はわざわざ足を伸ばさないでしょう。幅広い層の市民に芸術に触れてもらい、また体験へと進んでもらうには駅のそばはすばらしいことです。

費用負担も問題で、新施設にギャラリーができて料金が高くなれば利用者はさらに限定されます。今でも利用が難しい施設もありますが、料金制度も重要な文化振興です。

枚方の状況から考えると廃止は文化振興後退の可能性が高く、新施設ができても現在の市営ギャラリーを存続・改善できます。廃止方針はあるけれどまだ決まったわけではありません。議員や市に要望を出すなど市民にできることはあります。

市民にとって大切な施設の存続が危ぶまれる今、文化振興について考えるときだと思います。

花歌（フォトグラファー）

地元地域の「気になる問題」について、市民と共に動いた活動が、国を揺るがす大きな問題に……！
「森友学園問題」についての学習会に行きました。

７月７日（日）交野市ゆうゆうセンターにて、学習会「森友問題について～市民の知る権利に関して～」が開催されました。講師は、豊中市議で、「森友学園問題を考える会」の木村真（きむら・まこと）さん。主催は、交野市の団体「憲法とくらしを考える会」です。

約2年半前マスコミに取り上げられ、国会で大問題となった「森友学園問題」。国有地が異常に安く売られたと疑念を集めた土地に建設中であった瑞穂の國記念小學院は、完成目前の状態で現在放置されています。建物の裏手には建築資材が置かれている、そんな写真をまず見て、この問題を最初に追求した木村さんのお話を聞きました。

問題になった国有地は、もともと豊中市が国から無償貸与を受けて防災機能を備えた公園をつくりたいと希望して公園完成予想図までできていました。その後国から無償貸与はできないと言われ、しかたなく道路を挟んだ東側の部分の土地だけを買ったという経緯があります。あそこはどうなるのだろうと誰もが気にしていた土地。そこで工事が始まり、小学校の建設工事と表示され、児童募集のポスターが貼ってあった。2016年5月のことです。ポスターを見ると教育勅語が載っている。公的な制度に則った公教育で、これはいけないんじゃないか？　疑問を持った木村さんが土地の登記を調べると、所有者は国交省。そこで国有地売買窓口の近畿財務局に電話して詳細を聞くと、「定期借地権付きで貸しています」との返答。なんだかこれは本当に変。6月情報公開請求を行うと、金額等が黒塗りになった書類が開示されてきた。これは絶対おかしい……！　8月「森友学園問題を考える会」を立ち上げ、10月ビラ配り開始。11月にはマスコミに働きかけたものの取り上げてもらえず、2017年2月8日裁判所に情報公開請求の提訴。翌日からマスコミが大きく取り上げて、「森友問題」として国会を揺るがす大事件となっていったのでした。

テレビや新聞の報道で見聞きしていたことですが、当時その渦中ど真ん中にいた木村さんのお話はリアルで凄い。「こんな風に問題が大きくなるとは思っていなかった」というこの問題は、しかし、2017年3月学校法人森友学園の籠池前理事長の国会での証人喚問をピークとして、問題解明の機運は急速にしぼんでいきます。9月28日衆議院解散、10月22日の衆議院総選挙で、与党である自民党が大勝。翌11月会計検査院は大阪航空局がゴミの算定に使った数値について「十分な根拠が確認できない」と報告しましたが、追求がさらに深まることはありませんでした。翌2018年3月には朝日新聞が公文書改ざんをスクープ、財務省が公文書改ざんを認めましたが、5月31日佐川財務省理財局長はじめ財務省職員が背任罪について全員不起訴処分。そして誰も何も責任を取らぬまま、この問題はうやむやにされようとしています。その後自衛隊の日報改ざん、失踪外国人技能実習生聞き取り調査の誤り、統計データのねつ造と、重大な問題が次々明らかになってきています。「森友問題」で露わになったのは、この国の抱える病の深さ。この国は、本当にこれでいいのか？

2017年2月大阪地裁に提訴した情報公開訴訟は、その後国家賠償訴訟に変更され、2019年5月30日「一部勝訴」の判決を得ましたが、不服として大阪高裁に控訴。また、2017年3月22日背任罪容疑で大阪地検に行った刑事告発は、上述のように不起訴とされましたが、検察審査会に申し立て、「不起訴不当」議決を得て、現在大阪地検特捜部が再捜査中です。「検察に起訴させることを当面の課題としてがんばります。特捜部、がんばれー！」と木村さん。「森友学園問題を考える会」では、毎月2回豊中市内の各駅頭にて情報宣伝の活動を行い、年に何度か市民集会を行っています。次回は8月31日に市民集会を開催の予定です。

（豊髙明枝）

うたかた話（7）徒然草２

今回は『徒然草』第２弾としまして、『徒然草』をより深く見て行きたいと思います。前回にも書きましたが、『徒然草』は全部で二百四十三段もあり、その総てを解説する事は出来ませんが、思いつく儘に書いてみたいと思います。

『徒然草』で誰でも直ぐ浮かぶのは序段に書かれているこの本の基本的物の考え方です。それは『随筆』の元であり、この本の姿勢です。

徒然なるままに……硯に向かって心に浮かんで行くままに書き綴っていくのが『随筆』であり、『随想録』で有ると思います。『パンセ』もモンテーニュの『随想録』も寺田寅彦の『随筆集』もそうであり、島崎藤村の『おさなものがたり』もそうであると言えます。

これらの本の面白い所は書かれた内容が当時の社会の姿であり、人々の考え方であると思います、そして又当時の人々の姿が目の前に再現されます。それが『随筆』の面白い所であり価値ある姿だと思います。公的に書かれた歴史（当時の政治史）では無く、誰も相手にしなかった民衆の姿が再現されるのが面白いのでは無いでしょうか。大衆の中に埋もれてしまった歴史がその文章の中に甦ってくる様に思われます。

『方丈記』は“ゆく川の流れは絶えずして”で始められ止まる事を知らない川の流れの様な世の中を書こうとしています。その意味では『随筆』ですが、前半には『火災』、『地震』、『つむじ風』『遷都』、『飢餓』、と目的を持った書き方をしています。そして後半には己が住んで居る方丈の状態を書いて居ます、思いつく儘に書かれている『随筆』とは何か異なる様な気がしますが、しかし各事件の世の中の姿を自由に書かれている事は将に『随筆』と言われる所以では無いでしょうか。

清少納言の『枕草子』、卜部兼好（吉田兼好）の『徒然草』、鴨長明の『方丈記』が日本の三大随筆と言われる作品で有る事は学校でも習いテレビ等の色々な問題にも出されますので、誰でも知っている事だと思います。

「枕草子」は『春は曙ようようしろく成り行く』で始まる、清少納言が仕えていた中宮定子を中心とした宮廷の仕来りや色々な出来事を、清少納言が自分の字で書かれているのに特徴が有ります。『源氏物語』と大きく異なるのは『源氏物語』はあくまでも小説です。

この時代宮廷の事が中心に書かれていますのは、当時識字率が低く、字を読めるのは宮廷のみでそれ以外は殆ど物を読むという習慣は無かったと思われます。書くのは宮廷の事であり、読むのは宮廷の人だからです。

まだ漢字は男性の特許であり、女性は仮名文字を使用していた時代です。『枕草子』にも書かれていますが、中宮定子が“香炉峰の雪は”と言われた時に清少納言は“すだれを巻き上げた”と書かれていますのは、清少納言が男子が主に読んでいた漢字で書かれていた『和漢朗詠集』を知っていた事だと知る事が出来ます。此の話などからは当時は特に勉強している人だけが知っている事が色々ある事を如実に物語っていると思われます。この様に当時の宮廷内の姿を垣間見る事が出来るわけです。

『方丈記』、『枕草子』、『徒然草』を引っくるめて日本の古典の三大随筆として処理していますが、今書きました様にそれぞれ特色が有り、それぞれに大きな意味を持っている様に思います。

一番短いのは『方丈記』で四百字詰め原稿用紙に換算すれば二十枚程度の短編です。そして『徒然草』が二百四十三段、『枕草子』に至っては三百二十五段にも達しています。此を総て読んで理解すると言う事は我々にとっては全く不可能な事で、又そのような事をしようとも思いません。その意味に於いて島内裕子先生（放送大学教授）の『ちくま学芸文庫』の『枕草子』と『徒然草』です。この本は各段毎に『訳』と『評』が書かれている本で私達にとって一番面白いのでは無いでしょうか。

今回はこの本を色々と使わしていただました。次回の事はこれから又考えたいと思います。

小田川徳男

LIPが選ぶ

今月の五行歌

お母さんの怪我が
治りますように
短冊に記した息子（七歳）
七夕見上げ
なつかしむ

えみこ

この夏の
課題は
スズメバチ
カブトムシの餌場に
きっと現れる

天河童

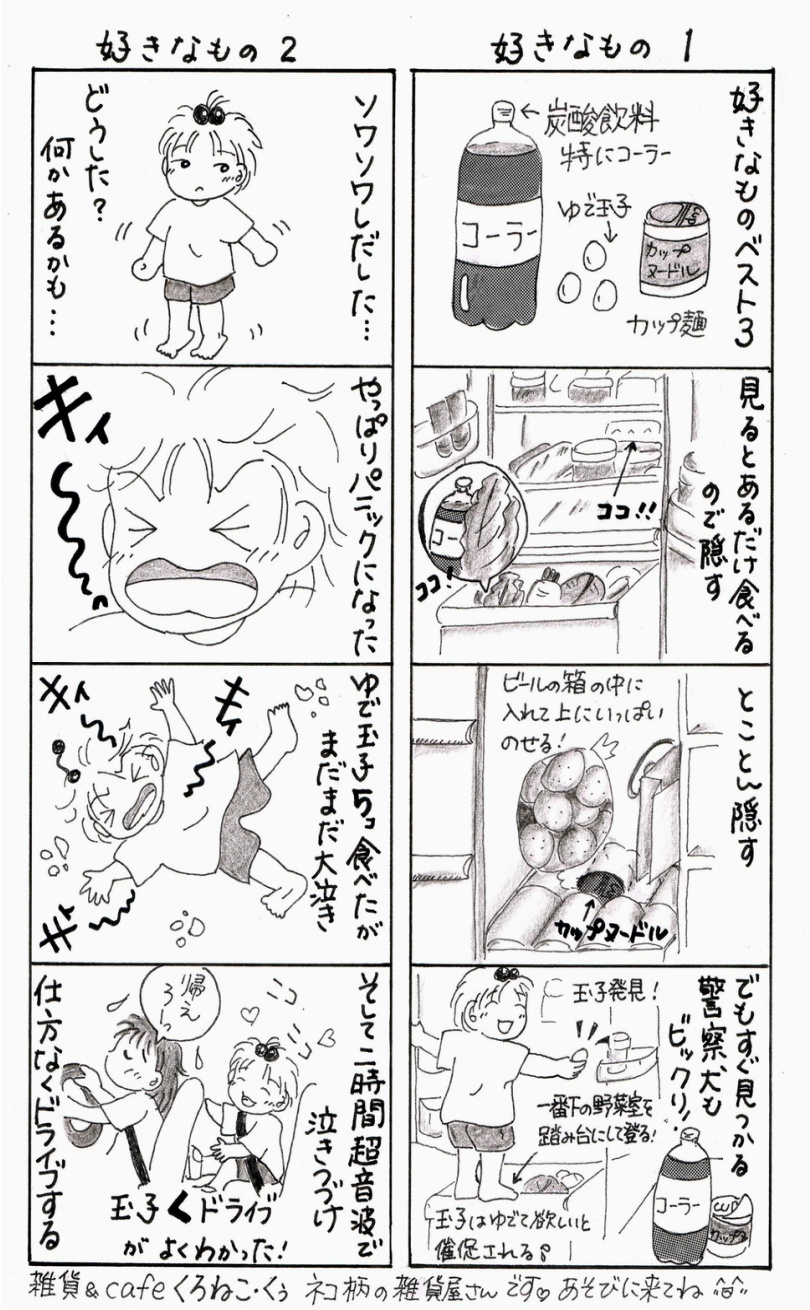
「あーら、ランちゃん」
「ココちゃん、お元気ィ？」
買い物かご下げ
奥さまが呼びかける
犬のなまえ

さなぎ

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会(連絡先：090-5893-5635)が、月一度、歌会を行っています。その作品の中から、LIP編集局が「気になるうた」を選びました。

明るい自閉症講座（11）

作　くろねこ七桜



京都やましろ保養の家が開設しました

6月29日（土）京都府相楽郡精華町東畑前坂に「京都やましろ保養の家」が開設、見学会と開設記念のつどいが行われました。

「京都やましろ保養の家」は、ＪＲ祝園駅からコミュニティバス「精華くるりんバス」で約22分の「東畑」で下車、道なりに坂を上ったところにある２階建ての家です。しばらく使っていなかった空家の離れを、家主さんの厚意で開放、カンパを募って寝具や電気製品等を整えました。

保養の家をつくろうと呼びかけたのは、2013年から現在まで、福島県などから京都府内に避難している子どもを対象に「避難者こども健康相談会」を開催しているメンバーたち。原発事故により放出された放射能の影響を受ける地域に居住している人たちが、一定期間放射能の影響を受けない地域で生活することで、健康回復につながるという「保養」の効用は、チェルノブイリ原発事故後の現地の取り組みで実証されています。「京都にも保養の家をつくりたい」との願いが、このほど実現しました。

１階には風呂とトイレ、２階は２間続きの和室にフローリングが続き、豊かに広がる緑が窓から見渡せます。家族あるいはグループで１週間程度の滞在ができます。開設の知らせに、早速１週間利用したいとの希望が入ったとのこと。保養が必要な人たちの利用希望を随時受け付けています。また、「京都やましろ保養の家を守り育てる会」の会員（年会費１口千円）も募集しています。

保養の家の利用案内、利用申込書等についてはこちらをご覧ください。

→http://fukushimakyoto.namaste.jp/hoyou_no_ie.html

（ＬＩＰ編集局　豊髙明枝）

イベント・サークル・ボランティア情報

☆彡 夏休み企画☆ひろがれ子ども食堂！ ☆彡
子ども食堂コンサート
君には帰る場所がある

☆パネリスト
・NPO法人ひらかた子ども食堂ファンクラブ
　理事長　黒野正法氏　　副理事長　梅原知子氏
・ 枚方ローズライオンズクラブ　会長　十河宏輔氏
・ 歌手／会社員　木山裕策氏
☆コーディネーター　・大橋ともひろ氏

☆☆木山裕策ミニライブ☆☆

日　時：8月18日（日）
開　場：18:30　開　演：19:00～20:30
場　所：メセナひらかた 多目的ホール
参加人数：300人
参加費：無料
主　催：NPO法人ひらかた子ども食堂ファンクラブ
特別協賛：枚方ローズライオンズ
後　援：枚方市 枚方市社会福祉協議会 枚方市教育委員会

LIPは、次の場所に置かせていただいてます。

☆ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
☆ 枚方市ボランティアセンター ［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた ［枚方市招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆ コミュニティーカフェ ラ テール ［枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前　072-848-0418］
☆ NPO法人 りりあん ［枚方市長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆ 婦人洋品店 シャルム ［枚方市南楠葉 1 丁目 2-16 くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆ 喫茶 Dik Dik ［枚方市岡本町 8-17　072-846-5377］
☆ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 ［枚方市藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび ［枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室　072-856-9177］
☆ 泉屋 楠葉店 ［枚方市楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆ WAVE34(ボウリング場) ［枚方市田口 4-11-8　072-848-0450］
☆ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ ［枚方市堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆ 京阪総合会計事務所 ［枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301　072-805-5252］
☆ ヘアースタジオぱぺぽ ［枚方市南楠葉2丁目 4-3　072-850-9070］
☆ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) ［枚方市大垣内町2丁目 1-20　072-841-1221］
☆ 枚方市役所 津田支所 ［枚方市津田北町 2-25-1　072-858-1502］
☆ (財)枚方市文化国際財団 ［枚方市岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆ 枚方市総合福祉センター ［枚方市津田東町 2-26-1　072-858-5835］
☆ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぱぴるす ［枚方市大字尊延寺 2200　072-859-0245］
☆ NPO法人パーソナルサポートひらかた ［枚方市中宮山戸町 10-12-105　072-848-8825］
☆ 自閉症療育センター Link ［枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階　072-841-2411］
☆ 「市民の広場」ひこばえ ［枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室　072-846-8780］
☆ 紅茶専門店VIE ［枚方市南楠葉 1-1-34　072-856-2355］
☆ shot bar カボチャソース ［枚方市牧野下島町 14-22　072-809-7676］
☆ ポパイ商店 ［枚方市山之上2丁目 16-9　072-846-7232］
☆ えほんのお部屋ひまわり畑 ［枚方市香里ケ丘 12 丁目 6-28　090-6739-7064］
☆ クッキー工房おれんじはうす ［枚方市交北3丁目 3-10　072-856-8378］
☆ 陶器食器のお店 a new sprout ［枚方市堤町 2-14　072-846-9550］
☆ 雑貨／カフェ ルポ・デ・ミディ ［枚方市堤町 10-12　072-843-1525］
☆ 渦潮ベーカリー楠葉店 ［枚方市町楠葉 1-30-6　072-856-5420］
☆ 輝きプラザ「きらら」 ［枚方市車塚 1-1-1］
☆ 教育文化センター ［枚方市磯島北町 37-1　050-7102-3150］
☆ 三代目たくちゃん ピーコ ［枚方市牧野阪2丁目 7-30　080-3785-1728］
☆ MIKIHOUSE キャラメル ［枚方市牧野阪 2-9-15-105　072-857-6626］
☆ 株式会社 丸天酒店 ［枚方市牧野阪 2-5-23　0120-39-7003］
☆ MogaJogaDining 枚方宿 ［枚方市堤町 2-15　072-846-3535］
☆ カフェレストラン風鈴火山 ［枚方市牧野阪 2-5-19　072-856-3799］
☆ とくふうホーム ［枚方市大字尊延寺4592−24　072-858-4058］
☆ 音楽療法スペース　ウッドヴィレッジ ［枚方市牧野下島町 9-12　070-857-3540］
☆ みんなでつくる広場「ちょこっと」 ［枚方市楠葉野田 2-30-8　072-856-9439］
☆ スパバレイ枚方南 ［枚方市津田山手 1 丁目 24-1　072-808-4126］
☆ やすらぎの丘霊苑 ［枚方市大字尊延寺 4588 番 4　072-896-1212］
☆ 苺のいえ ［枚方市甲斐田町5番25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660］
☆ ちいさいほいくえん みんなの里 ［枚方市楠葉並木 2-28-4　072-845-6814］
☆ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 ［西禁野 1-6-28　072-848-8481］
☆ くずはアートギャラリー ［枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナノモール 3 階］
☆ カフェ ル ポン ［枚方市高田2丁目 20-17　072-396-8785］
☆ 街かどデイハウス秋桜 ［枚方市宗谷 1-1-1　072-859-3991］
☆ 明日花障害者作業所 ［枚方市西禁野1丁目 3-18　072-848-2324］
☆ 陽だまりの会 ［枚方市交北 2 丁目 7-15　072-809-0015］
☆ Lin Brun. ［枚方市牧野下島町 18-7　072-865-3514］
☆ カミュゥ ［枚方市牧野下島町 13-11　072-865-7310］
☆ Grand Table ［枚方市山之上 1 丁目 12−10　072-846-3808］
☆ 尊延寺公民館 ［枚方市尊延寺 3 丁目 3－16　072-859-0168］
☆ ひねもすぱんのかふぇ［枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1 階 090-5963-0590］
☆ まことの豆富 燈 本店 ［枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022］
☆ 雑貨&cafe くろねこ・くぅ ［枚方市片鉾東町 20-1　072-896-9690］
☆ 京阪総合カウンセリング ［枚方市新町 2-1-9 ほーむ 21 新町 106 号 072-814-7140］

◇　◇　◇　◇　◇

☆ フレッシュベーカリー ラッキー ［寝屋川市早子町 18-1　072-821-0413］
☆ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ ［交野市天野ヶ原町2丁目 14-20］
☆ 青年の家 ［交野市私部2丁目 29−1　072-892-7721］
☆ 大阪市総合生涯学習センター ［大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第 2 ビル 5 階 06-6345-5000］
☆ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ ［大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F　06-6885-8475］
☆ ふらっとねやがわ ［寝屋川市東大利町 2-14（市立産業振興センター5 階）　072-800-5789］
☆ ふれあいプラザ香里 ［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店1階 072-835-3335］
☆ 交野市役所内わいわいネット ［交野市私部 1 丁目 1-1］
☆ Cut wa Coconi ［交野市梅が枝 55-13 072-893-0020］
☆ ヘアーサロンおおまち ［交野市私部 3-17-2 072-891-5024（予約優先）］
☆ 和食「ふる里」 ［三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498］
☆ 大阪府衛生会附属診療所 ［高槻市奈佐原 955　072-696-3351］
☆ 西宮男女共同参画センター ウェーブ ［西宮市高松町 4-8　0798-64-9495］
☆ 大東市立生涯学習センター アクロス ［大東市末広町 1-301　072-869-6505］
☆ フェルデンハウス北斗星 ［寝屋川市萱島東1丁目 16-15　070-5435-1965］
☆ 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
［大阪市中央区大手前 1 丁目 3-49 06-6910-8500］

応援ありがとうございます♪

ＬＩＰ応援団

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
28,991	前号から繰り越し
▼500	７月ロッカー代
▼4,720	７月号印刷代
23,771	計（次号へ繰り越し）

イラスト　表紙, P7, 8：平井由恵

ひらつー
「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト
枚方つーしん　検索